



## 食について考えよう!

### 福島食の文化祭

福島食の文化祭実行委員会(梶原貞子会長)が主催する第5回福島食の文化祭が2月5日、福島保健センターで開催されました。

このイベントは、食育を推進し、食による健康づくりや郷土料理の伝承などを通して地域の食文化への関心を高め、手作りの良さや大切さを知ってもらおうと実施されました。

親子で「食」を楽しむ親子料理教室や試食会、佐世保市立広田小学校教諭の福田泰三氏を講師に迎えて『食とことばで子どもを元気に!～家庭がパワースポットになる日に～』と題し、講演会が行われました。参加者たちは熱心に聞き入り、「食」について考える1日となりました。



## 鬼は外! 福は内!

### 今福神社節分祭

今福神社節分祭の豆まきが2月3日、同神社境内で行われました。

今年の「福っ娘」は、今福町の山中結以果さん(九州化学園高3年)と松永実紅さん(今福中2年)が務めました。2人は金色の烏帽子と桃色の羽織袴に身を包み、「鬼は外! 福は内!」と元気な声で豆をまきました。

山中さんと松永さんは、「皆さんの幸せと自分にも福が来るようにと願って福豆をまきました」と笑顔で話しました。

この日集まった約40人は、たくさんの福をつかもうと、飛んでくる福豆に向かって大きく手を伸ばしました。



## 子ども県展絵画部門で特別賞(知事賞)受賞!

### 長崎県小・中学生児童生徒美術作品展(子ども県展)

第62回長崎県小・中学生児童生徒美術作品展(子ども県展)で、県内の小・中学生の応募作品約7万9千点(絵画・版画・立体・デザインの4部門)から選ばれた60点が特別賞を受賞しました。

絵画部門では、本市から中野結愛さん(志佐小1年)と山下翔聖さん(鷹島小2年)の2人が、子ども県展最高賞である知事賞を受賞しました。

中野さんは、「賞をもらってとてもうれしいです。クレパスで色を重ねて塗り、その上からクリップを使って削り、オオカミを上手に描けました。これからも絵を上手に描きたいです」と話しました。

山下さんは、「賞をもらってうれしかったです。牛舎で飼われている牛の絵をクレパスと水彩絵の具で描きました。牛の周りの色やお世話をしている人を描くのが難しかったけど、頑張って上手に描けました」と話しました。

また、版画部門では、青島小学校が子ども県展学校賞(優良校)を受賞しました。



#### ▲受賞作品

大胆で元気がある絵で、オオカミの毛並みを4色重ねて塗り、クリップで削って描く技法も高い評価を得ました。



▲中野結愛さん(志佐小1年)



#### ▲受賞作品

牛小屋の様子が牧歌的に描かれており、作者の優しさや輝きが伝わる作品として高い評価を得ました。



▲山下翔聖さん(鷹島小2年)

# Dreaming about the Future

## — 未来を夢みて —



ブレンダン・ピアス  
Brendan Pierce  
アメリカ出身

こんにちは！  
外国語指導  
助手です。



ちょうど今年の今ごろ、日本にもう一年滞在することを決めました。児童・生徒たちは、卒業の準備中で、春が間近で、空気は甘くてドキドキ、ワクワクするような感じでした。昨年は、春を「変化の季節」ということで、卒業する児童・生徒、転勤する先生、進学、就職で地元を離れていく息子・娘を見送る保護者たちに新しい生活を運んでくるお伝えしました。

今春、私は、大学院に進むためにアメリカに帰国することになりました。未来に挑戦するワクワクする気持ちと悲しい気持ちでいっぱいです。なぜ悲しいかということ、松浦は3年半の間私が生活する所で、生涯の友といえる人々と出会い、自分が成長でき、たくさんの日本語を学んだ場所だからです。この素晴らしい機会が与えられたことに、心から感謝しています。そして、帰国後は皆さんと

会えなくて、寂しい気持ちになることでしょう。

母国では、現在政治的に多くの変化があるようですが、それに対応できることを願っています。将来何が起ころうと時々考えることはありますが、きっと松浦で過ごした経験がいろいろなことを乗り越えさせてくれるでしょう。

松浦の皆さん、本当にいろいろとありがとうございました。またいつの日か皆さんと会えることを楽しみにしています。



## 図書館の おすすめ BOOK 本

市立図書館  
☎ 0956-72-4677



松浦市ホームページで  
「松浦市立図書館」を検索

土日、祝日も開館しています。(年末年始、臨時休館を除く)



『僕らが毎日やっている最強の読み方  
新聞・雑誌・ネット・書籍から「知識と教養」を  
身につける70の極意』  
池上彰・佐藤優／著 東洋経済新報社  
世の中に溢れる情報はどこから集め、  
どう読むのか。日本を代表する二人  
の論客が情報の本質を見極める極意  
を対談形式で紹介した一冊。両氏が  
毎日チェックする新聞、雑誌、書籍、  
サイトのリストも満載です。



『ふくはなにからできるの？  
—せんいのはなし—』  
佐藤哲也／文 網中いづる／絵 福音館書店  
暖かいセーター、丈夫なシャツは何  
からできているの？布は糸から、糸は  
繊維から、繊維は…たどっていくと植  
物や動物、石油に！まずは服のタグを  
確認してみよう。生まれてからずっと  
身に着けている衣類。その特徴を知り  
上手に着て快適に過ごしたいですね。

### 「福江こども図書館文庫」コーナーを設置しました！



▲このコーナーは、おはなしのへやのそばに設置しています。

図書館友の会・まつうら図書館きらきら塾さんのご尽力で、新しいコーナーが生まれました。その名も「福江こども図書館文庫」。「福江こども図書館」は、2015年3月末に閉館した個人運営の図書館です。今回、五島の子どもたちを見守り続けてきた本が、海を渡って松浦にやってきました。誰もが一度は聞いたことのある名作だけでなく、書店での入手が難しい絵本もあります。図書館を訪れた全ての人に手に取っていただきたい本たちです。貸し出しをしていますので、ぜひご利用ください！

※ 蔵書点検等のため、3月6日まで休館します。長期の休館となり、大変ご不便をおかけしますが、ご協力をお願いします。